

# 福島県農林水産業振興計画 見直し案(たたき台)について

## 参考資料 1

これは、平成24年8月31日現在の内容を事務局が整理したものである。

平成24年8月31日  
福島県農林企画課

### 第1章 総説

- 計画策定の趣旨 東日本大震災及び原子力災害など急激な情勢変化を受けて現行計画を見直す
- 計画の位置づけ ■福島県総合計画の農林水産分野の計画  
■福島県農業・農村振興条例第19条に定める基本計画  
■本県農林水産業・農山漁村に関する各種計画の上位計画
- 計画期間 平成25年度～平成32年度(8か年計画)

### 第3章 ふくしまの農林水産業・農山漁村のめざす姿

《子どもたちが社会を担う将来においてめざす姿》

東日本大震災及び原子力災害から  
復興を果たした農林水産業・農山漁村

- ・故郷への帰還と経営再開
- ・生産基盤の復旧
- ・農地、森林等の除染 等

消費者の期待に応え、  
安全・安心な農林水産物を提供する農林水産業

- ・安全・安心な農林水産物の提供

県民の暮らしを支え、持続的に発展する農林水産業

- ・新たな経営・生産方式の導入 等

多様な人が集う、いきいきとした活力ある農山漁村

- ・海岸防災林等、災害に強い農山漁村づくり
- ・再生可能エネルギー生産の導入 等

美しい自然環境を次世代に引き継ぐ、  
環境と共生する農林水産業

- ・環境の再生 等

### 第2章 農林水産業・農山漁村をめぐる情勢

《農林水産業・農山漁村をめぐる情勢変化》

#### ◎ 東日本大震災及び原子力災害の発生

- ・多くの県民が避難、帰還の見通し立たず
- ・農林水産物の出荷制限、風評被害 等

- ◎ 安全・安心に対する意識の変容
- ・世界の中でも極めて低いレベルの基準値の設定 等

- ◎ 人口減少及び高齢化の進行

- ◎ 世界経済の一体化と多極化の進行
- ・TPP交渉 等

- ◎ 地球温暖化の進行と再生可能エネルギーへの期待の高まり

- ◎ 本県の特徴的な取組
- 除染
- 絆づくり
- 地域産業6次化

《福島県の農林水産業・農山漁村の特性》

- ◎ 広大な県土・豊かな自然条件
- ◎ 有利な地理条件
- ◎ 調和のとれた7つの生活圏
- ◎ ねばり強く、温かな県民性
- ◎ 県民の意識
- 農山漁村への期待
- 農林水産物の購入に関する意識

《福島県の農林水産業の現状と役割》

- ◎ 東日本大震災及び原子力災害の発生
- ・作付制限、沿岸漁業操業自粛 等
- ◎ 農業資源
- ◎ 森林資源
- ◎ 水産資源
- ◎ 農林水産業の就業者と産出額
- ◎ 福島県の主要な農林水産物
- ◎ 農林水産業・農山漁村の役割
- 食料や木材の安定供給
- 地域経済への貢献
- 地域社会の形成
- 多面的機能の発揮

### 第4章 施策の展開方向

東日本大震災及び  
原子力災害からの復興

- ◎避難地域における農林水産業の再生
- ◎生産基盤の復旧
- ◎被災した農林漁業者等への支援
- ◎放射性物質による影響の除去

安全・安心な  
農林水産物の提供

- ◎食の安全確保
- ◎信頼性の確保
- ◎「食」や「ふるさと」に対する理解促進

農業の振興

- ◎いきいきとした農業担い手づくり
- ◎農業経営の安定
- ◎農業生産基盤の確保・整備
- ◎県産農産物の生産振興
- ◎流通・消費対策
- ◎新技術の開発と生産現場への移転
- ◎農業関係団体との連携

林業・木材産業の振興

- ◎森林資源の充実・確保
- ◎林業生産基盤の整備
- ◎県産林産物の振興
- ◎林業担い手の確保・育成
- ◎試験研究と技術の普及・定着
- ◎林業関係団体との連携

水産業の振興

- ◎漁業生産基盤の整備
- ◎漁業担い手の育成・確保
- ◎水産物の流通・加工対策
- ◎水産資源の持続的利用
- ◎試験研究・技術開発の推進
- ◎漁業関係団体との連携

魅力ある農山漁村の形成

- ◎農林水産業を支える絆づくり
- ◎都市と農山漁村の交流促進
- ◎地域産業6次化による農山漁村の活性化
- ◎快適で安全な農山漁村づくり
- ◎地域資源を活用した  
再生可能エネルギーの導入促進

自然・環境との共生

- ◎環境と共生する農林水産業
- ◎地球温暖化への対策
- ◎農林漁業・農山漁村が有する  
多面的機能の発揮
- ◎県民参加の森林づくり

各施策を横断して取り組む

### 第5章 重点戦略

※調整作業中

### 第6章 地方の振興方向

県北

県中

県南

会津

南会津

相双

いわき

### 第7章 計画実現のために

※調整作業中